

【女子ホッケー部】

・チームの沿革

1985年に5名の同好会からスタートし、翌年の1986年に部に昇格した。しかし、当時は大学にグラウンド、指導者もいなく、岐阜女子商業高校(現岐阜各務野高校)のグラウンド借用と同校安田善治郎監督の指導の練習が続いた。1989年に現在の監督の小林和典氏が監督に就任し、1992年に岐阜市芥見にナイター設備のホッケー場が完成した。その間に、ホッケー部は着実に力をつけ、翌年の1993年には全日本学生ホッケー選手権大会で優勝、'94年には全日本大学王座決定戦で優勝、'95年には全日本女子選手権大会で悲願の日本一となった。

また、2007年からは共学化に伴い、名称を東海学院大学に変更した。「組織プレー」・「チャレンジ精神」をモットーに社会性のある人間形成を目指している。

さらに、女子ホッケーが初めてオリンピックに出場したアテネオリンピックより、多数のオリンピック選手を輩出している。

・主な実績

全日本女子ホッケー選手権大会	優勝 1 回
全日本学生ホッケー選手権大会	優勝 8 回
全日本大学ホッケー王座決定戦	優勝 8 回
東海学生ホッケー選手権大会	優勝 29 回 (29 年連続)
東海学生ホッケーリーグ	優勝 29 回 (29 期連続)



・ 2021 年度の部員数 37 名



